

地域のあたたかい見守りで、安心・安全・牛尾っ子

鹿児島県伊佐市		●活動名 牛尾校区コミュニティ協議会			●関係する学校名 伊佐市立牛尾小学校 伊佐市立大口中央中学校	
協働活動開始年度	平成 30 年度	学校運営協議会	指定・設置日 平成30年4月1日設置	地域学校協働本部	有	
活動区分	学校支援活動		地域課題解決学習	地域人材育成		
	地域未来塾		放課後子供教室			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		
	2人		3人			
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無	ICT機器活用	無	
	41人					
参考URL	https://ja-jp.facebook.com/ushiocomunity					
●連絡先	伊佐市教育委員会 社会教育課		☎ 0995-26-1554			



・平成25年に子供を含む地域住民に公募、投票により決定。
・着ている服は牛尾棒踊りの衣装

牛尾校区コミュニティ協議会マスコット「うしおぼう」

●活動の概要・経緯
児童への声掛け事案をきっかけに、平成26年に地域高齢者クラブに協力をお願いし、「牛尾っ子見守り隊」を結成。平成21年から活動している「青バト隊」と連携し、毎日の登校見守り活動及び毎週水曜日の「山坂達者の日」に併せた見守り活動を行っている。また、学校運営協議会の発足を機に「牛尾っ子サポーター」として、学習支援などを行っている。平成25年度から青少年健全育成を目的に取り組んでいる「ふるさと学寮」は高齢の支援者の生きがいづくりに繋がっている。
平成20年から地域の伝統芸能である「郡山棒踊り」と「牛尾棒踊り」の保存活動を行っている。現在は「郡山棒踊り」の指導者不足により、「牛尾棒踊り」のみであるが、学校支援の一環として、後継者育成を目的に指導を継続し、運動会で地域住民へ披露している。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①見守り活動…地域高齢者クラブと協力し、「牛尾っ子見守り隊」を結成して児童の毎日の登校や毎週水曜日の「山坂達者の日」に合わせて見守り活動を行っている。
- ②土曜授業の支援…子供たちの創造性や主体性の向上を目的に、土曜授業に田植え・稲刈り、凧あげ大会、鶴田ダムなどの社会科見学などの体験活動を数多く企画している。
- ③コミュニケーションの場の設定…PTA主催の愛校作業後にそうめん流しを実施し、学校、児童、地域住民とのコミュニケーションの場を設けている。
- ④郷土学習支援…地域の高齢者を「ふるさと先生」として派遣し、「郡山棒踊り」「牛尾棒踊り」の歴史について授業支援を行っている。

【実施に当たっての工夫】

牛尾コミュニティ協議会が地域の全世帯に配布するコミュニティ広報紙で、行事や活動内容の周知や報告をしている。また、牛尾校区出身者及び関係者向けに、地域に住んでいなくても牛尾校区の活動が分かるよう活動報告などについて、SNSを活用した情報発信をしている。

【関係機関・団体等との連携状況】

伊佐市で取り組んでいる「伊佐さわやかあいさつ運動」では、教育委員会社会教育課や青バト隊、牛尾っ子見守り隊と連携し、見守り活動・あいさつ指導を行っている。
牛尾棒踊り保存会とは、運動会での披露に向けての練習期間の調整、児童の習得度確認など常時連携をとっている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

コミュニティ協議会としての活動をはじめから11年が経過した。地域住民にそれぞれの活動が浸透し、協力的な住民が増えてきている。

同時に、児童と地域住民の交流が盛んになり、顔馴染みの関係を築くことにより、青少年の健全育成の効果も高まっている。また、高齢者にとっては見守り活動や学習支援が楽しみとなり、地域住民の生き甲斐にもなっている。

学習支援や伝統芸能の「牛尾棒踊り」の歴史授業、カヌー体験、食育の授業等、多岐に渡る積極的な支援は、子供たちの心豊かな成長につながっている。

● その他

- ・「牛尾っ子サポーター」が、新型コロナウイルス感染症の予防のため、全児童に手作りマスクを送った。
- ・校区のシンボルでもある高熊山公園の清掃作業を「高熊山緑の少年団」の活動の一環として年4回行っている。



「牛尾っ子見守り隊」による交通安全教室



運動会での「牛尾棒踊り」披露